

# ホームルーム活動（人権）学習指導案

1. 主 題 高齢者問題について

2. 主題設定の理由（省略）

3. ね ら い

高齢者介護の実情を把握し、高齢者の人権を尊び、社会全体で協力して高齢者を守っていかうとする姿勢を養う。

4. 指 導 計 画

第1回	人権に関する意識調査	1時間
第2回	人権に関する意識調査から学ぶ	1時間
第3回	就職差別	1時間
第4回	インターネットによる人権侵害	1時間
第5回	高齢者問題について	本時
第6回	外国人に対する人権問題	1時間

5. 本 時

(1) 目 標

高齢者介護の実態を知り、高齢者が自分らしく生きることのできる社会を実現するには、介護者と周囲の人々との協力が不可欠であることに気付く。

(2) 普遍的な学習のテーマ・・・個人の尊重

個人人権課題名・・・高齢者

(3) 展 開

段 階	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価
導 入	○前時の学習を振り返り、本時の目標を認識する。	○本時の目標を理解させる。	○本時の学習内容を理解できている。 (価値的・態度的側面)
展 開	○パソコンに提示された資料を見て、高齢者介護の問題点について考える。  ○生徒同士で互いに意見交換し、考えをまとめ、発表する。  ○高齢者介護の実態について知る。  ○高齢者の人権を擁護するために必要なことは何か考える。	○ワークシートに、疑問に思った箇所や、不合理を感じた箇所に線を引かせる。  ○自分の考えを的確に伝えられるよう指示する。  ○必要に応じて、メモをとらせる。 ○我が国に多い、家族が看取らねばならないという考え方が、介護者の負担となる場合もあることに気付かせる。  ○高齢者の人権を擁護するためには、周囲の人々の協力を得たり、社会的サービスを上手く活用することが大切であることを悟らせる。	○資料の内容を理解することができている。 (知識的側面)  ○積極的な話し合いができている。 (技能的側面)  ○高齢者介護を「やがて来る自分の課題」として受け止めることができている。 (知識的側面)  ○やがて自分自身も高齢者となるという自覚を持ち、高齢者介護の問題は家族の問題ではなく、社会全体の問題であることが理解できている。 (知識的側面)
ま と め	○本時のまとめを聞く。	○高齢者が自分らしく生きることのできる社会を実現しようとする意欲を持たせる。	○高齢者を尊重し、前向きに生きようとする意欲を持つことができている。 (価値的・態度的側面)